

学校間交流の場面で活用する

本場面におけるポイント

- **学校間交流のきっかけをつくる**ことができる
「心のノート」の関連する内容項目のページを活用することで、学校間交流を図ることができる。
- **それぞれの学校の子ども同士の相互理解が深まる**
「心のノート」を生かした多様な交流を通して、互いの理解が促され、自分たちの学校のよさにも気付く。
- **学校や郷土への連帯感を持続させる**
「心のノート」を媒介にして、例えば、社会の一員として、共に学校や郷土を愛し大切にしていこうとする連帯感を持続させることができる。



● 学校生活を充実させようとする態度や学校を愛する心を育てる場面での活用事例

小学校の取組（第6学年・学級活動）

- 1 題材名 いよいよ中学生
- 2 ねらい 中学校での新しい生活への関心を高め、充実した中学校生活を送ろうとする意欲やめあてがもてるようにする。
- 3 活動の概要と「心のノート」活用の実際

中学校生活への期待を話し合い、考える。

中学校へ疑問を送ろう!

- ① 中学校生活についての不安や疑問について話し合う。
 - ・中学校ではどんな教科を勉強しますか。
 - ・部活動は何種類ありますか。
 - ・テストは、何回ありますか。
 - ・どんな学校行事がありますか。
 - ・どんな施設がありますか。
- ② みんなの疑問を一覧表にまとめて送る。

中学校を知ろう!

- ① 中学生から送られたメッセージや掲示物を見て感想を発表し合う。
- ② 回答してくれた中学生にメッセージを書く。
- ③ 5・6年用P.126～127「さあ中学生 そして未来へ」を活用して、自分へのメッセージを書く。



中学校の取組（第1学年・学級活動）

- 1 題材名 わたしたちの学校自慢
- 2 ねらい 学校や学級の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に対する敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立しようとする態度を育てる。
- 3 活動の概要と「心のノート」活用の実際

小学生の疑問に答えよう!

- ① 小学生から送られた疑問についての回答を考える。
 - ・英語が新たに増えます。算数が数学、図画工作が美術、家庭が技術・家庭になります。
 - ・運動部、文化部など十数種類あります。
 - ・1つの学期に数回のテストがあります。
 - ・文化祭、体育祭、陸上競技大会などがあります。
 - ・立派な図書館、体育館があります。
- ② 小学生にメッセージを書く。

中学校用P.116～117「この学校が好き」を読み、「わたしたちの学校自慢」のワークシートに記入する。

中学校を伝えよう!

- ① 自分の学校の好きなところ、小学校とは違う点について掲示物にまとめて送る。
- ② 中学校用P.118～119「この学校をもっとすてきにしたい」などを活用し、発展的活動につなげる。

学校間交流を「心のノート」で橋渡し

● 地域社会の一員として郷土を愛する心を育てる場面での活用事例（生徒会活動）

- 1 題材名 私たちの郷土、ふるさとを語り合おう
- 2 ねらい 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、郷土の発展に努めようとする意欲を高める。
- 3 活動の概要と「心のノート」活用の実際

ふるさとのよさを探そう!

中学校用P.120～121「ここが私のふるさと」を読んで「ふるさとに自分ができることはなんだろうか」「お父さん、お母さんお話ししてよ」に自分の考えを記入し発表し合う。

- ① 同じ活動をした4つの中学校が、それぞれに意見をまとめ、生徒会活動を通して他の学校と交流し、郷土に関する様々な思いや発見、多様な意見や考えを知ることによって、さらに郷土への考えや地域社会の一員としての自覚を深める。
- ② 生徒会通信や学校だより等の発行物を配布して交流した結果を伝えるなどして、共に考えようとする意識を高める。



生徒会代表が集まって郷土についての意見交換

他の人の発言から、自分の知らなかった地域のよさを知ることでもできたし、自分の住んでいる地域への愛着に気付くこともできた。



中学校用P.122～123

● 特別支援学校との有志による交流活動を通して、相手を思いやる心を育てる場面での活用事例（生徒会活動）

- 1 題材名 スポーツ活動で交流しよう
- 2 ねらい スポーツ活動を通して、障害のある子どもについての理解と認識を深め、相手を思いやれるようにする。
- 3 活動の概要と「心のノート」活用の実際

- ① 特別支援学校の生徒と中学生がペアになり、スポーツ活動を行う。
- ② 活動後に、感想を述べ合う。
- ③ 今後、どのようなことに配慮して活動すればよいか考える。
- ④ 交流会終了後、学校に戻り、中学校用P.48～51「『思いやり』って…なんだろう?」を読んで、「日常生活や体験学習などを通して『思いやり』について感じたこと、考えたことがありますか?」に自分の考えを記入し、発表し合う。
- ⑤ 交流を通しての感想等は、廊下掲示したり生徒会通信を発行したりして全体に広める。